

令和3年度以降使用教科用図書 選定一覧表

| 小中別 | 種 目 | 発 行 者 番号 | 行 者 略称 | 書 名 | 選 定 理 由 |
|-----|-----|-------------------|-----------|-----------|---|
| 中学校 | 国 語 | 国 語 | 38 | 光村 | 国語 |
| | | 書 写 | 38 | 光村 | 中学書写 |
| | 社 会 | 社会 (地理的 分野) | 2 | 東書 | 新しい社会 地理 |
| | | 社会 (歴史的 分野) | 46 | 帝国 | 社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き |
| | | 社会 (公民的 分野) | 46 | 帝国 | 社会科 中学生の公民 よりよい社会を目指して |
| | | 地 図 | 46 | 帝国 | 中学校社会科地図 |
| | 数 学 | 61 | 啓林館 | 未来へひろがる数学 | 数学を生活や学習に活かすために、身のまわりの問題を発見・解決しながら基礎的・基本的な知識・技能を習得できるよう配慮されている。また、数学的活動を通して、数学の有用性を感じながら思考力・判断力・表現力等が育まれるよう工夫されている。 |
| | 理 科 | 2 | 東書 | 新しい科学 | 生徒の思考の流れを考慮した学習展開となっており、問題発見、課題設定、仮説の練り上げ、観察・実験後の結果、考察の過程で科学的な見方・考え方や、考察のポイントを示すなどの配慮がなされており、科学的に問題解決の過程を歩むことができるよう構成されている。生徒がつまずきやすいと思われる内容については、図解入りの分かりやすい表現で丁寧な解説がなされている。 |
| | 音 楽 | 一 般 | 27 | 教芸 | 中学生の音楽 |
| | | 器楽合奏 | 27 | 教芸 | 中学生の器楽 |

令和3年度以降使用教科用図書 選定一覧表

| 小中別 | 種 目 | 発 行 者 | | 書 名 | 選 定 理 由 |
|-----|-------|-------|----|---|---|
| | | 番号 | 略称 | | |
| 中学校 | 美 術 | 116 | 日文 | 美術 | 各学年の発達段階に応じた表現活動が紹介され、用いられている材料なども複数取り上げて、短時間でも無理なく表現方法を学ぶことができるよう配慮されている。また、各題材ごと、「造形的な視点」が生徒への問い合わせの言葉で示され、生徒自ら見方・考え方を広げられるような工夫もある。魅力的な美術作品も紹介されており、作品のよさを豊かに味わうことができる。 |
| | 保健体育 | 224 | 学研 | 中学保健体育 | 1時間の流れが、「課題をつかむ」→「考える・調べる」→「まとめる・深める」で構成され、生徒が自ら課題をもち、解決を図るために多様な学びが用意されている。コラムも話題性があり豊富である。実習「リラクゼーション」等では、体育と保健の関連性が大事にされ、身につける技能も明確になっている。自然災害に関わる内容が充実しており、応急手当に続く配列も効果的である。 |
| | 技術・家庭 | 技術分野 | 2 | 東書 新しい技術・家庭 技術 分野 未来を創る Technology | 「調べてみよう」「やってみよう」「考えてみよう」などの題材構成で、身近な問題から、生活を工夫したり創造したりする活動へと発展できるように配慮されている。また、統一された問題解決の流れが示されていて、問題解決に向けて見通しを持つとともに、解決の過程を振り返り、新たな課題を見出すことのできる工夫もある。活動や事例が豊富に掲載され、探求的に学ぶことができる。 |
| | | 家庭分野 | 2 | 東書 新しい技術・家庭 家庭 分野 自立と共生を目指して | 衣食住の身近な内容を前半に配置し、小学校での学習内容をもとに、発展的な学習ができるような題材配列となっている。また、「いつも確かめよう」では、家庭生活に必要な技能を身につけるための体験的な活動が示され、「やってみよう」「考えてみよう」では実践的な態度が育てられるよう工夫されている。図表や参考例も多く示され、主体的な学習への配慮もされている。 |
| | 英 語 | 2 | 東書 | NEW HORIZON English Course | 言語活動の目的や用途を明確にし、小学校の既習内容との接続を段階的に位置づけた単元配列の構成により、生徒の英語学習への意欲を喚起し、主体的に言語活動に取り組み表現力を高められるよう工夫されている。自分の考えや気持ちを友に伝え合い、課題解決するような言語活動が設定され、対話的な学習を促すよう構成されている。 |
| | 道 徳 | 38 | 光村 | 中学道徳 きみがいちばんひかるとき | 生徒の成長や問題意識に寄り添った学びになるように、年間を3つのまとまりに分け、学習活動がし易い系統的な教材配列がされている。また、「てびき」「深めたいむ」「学びの記録」等、広い視野から多面的・多角的に考え、自己の生き方について考える学習を通して、道徳的な判断力・心情・実践意欲と態度を育てることができるように配慮されている。 |